

住みやすさ指標に係るアンケートの実施について

1 これまでの経緯

- 平成 26 年 住みやすさ指標研究会を設立
- 平成 28 年 もりやま“大好き”指標（＝住みやすさ指標）を策定
- 平成 28 年 第 1 回住みやすさ指標に係る市民アンケートを実施
- 令和 2 年 アンケート項目を見直し（⇒コロナのため実施を断念）

2 調査概要

- (1) 調査対象 市民 2,000 人（住民基本台帳より 18 歳以上の市民を無作為抽出）
- (2) 配布方法 調査票等を郵送で配布（Web 回答のリンク先を調査票に記載）
- (3) 回収見込 約 40%
- (4) 調査期間 令和 3 年 9 月頃

3 調査設問数（全 62 項目程度および自由記述）

- (1) 回答者属性に関する項目（新型コロナに関する項目を含む） 14 項目
- (2) 「住み心地」に関する項目 24 項目
 - ・主観による評価 (1 項目)
 - ・評価分野ごとの評価項目 (23 項目)
 - ※評価分野は「健康・医療」、「教育・学習・子育て」、「環境」、「安心・安全」の 4 分野。各分野に 5～6 つの評価項目が属する。
- (3) 「幸せ感」に関する項目 24 項目
 - ・主観による評価 (1 項目)
 - ・評価分野ごとの評価項目 (23 項目)
 - ※評価分野は「福祉」、「暮らしと働き」、「文化・スポーツ」、「つながり」の 4 分野。各分野に 5～7 つの評価項目が属する。

4 回答方法（アンケート用紙 資料 3-3）

- (1) 市民 2,000 人を無作為抽出し、郵送または Web にて無記名で回答する。
- (2) 各評価項目に対し、5 段階評価（単位はハート）で回答。

5 今後のスケジュール（案）

- 9 月 アンケート用紙を配布
- 10 月 アンケート回答締め切り・集計
- 12～1 月 分析・報告まとめ
- 3 月 議会へ報告
推進会議へ報告